

健 究^Q 室

お
推しって、
そんなに
楽しいの？



vol. 27
Kenkyushitsu

2023年9-10月号

隔月刊



推しのいない私が聞いてみた

推しって、 そんなに楽しいの？

2021年に芥川賞を受賞した「推し、燃ゆ」。

ついに推しの世界は、純文学にまで顔をのぞかせました！

推しのいない私、ヤマザキにとっては、

推しを語るみなさんのコーフン気味のテンションと、

弾むココロ、浮きたつきブンは、とても幸せそうでうらやましくもありますが、

「追っかけとなにが違うの？」とか、

何がそんなに楽しいのかイマイチ理解できないところが…。

今日は、推しという沼にハマった女たちの座談会で、

素人なりに＜推しの真髄＞みたいなことを発見できたらな、と思います。

推し沼にハマった女たち

ドロ沼か?

座談会

はたまた
輝く湖か?

進行役



ヤマザキ
健究室編集員
推しなし



ふなや
健究室編集員
推し 国民的アイドル
S.Sさん



ヨーコ
サンセリデ社長
推し 日本人若手俳優
E.Aくん



ひろこ
スキんケア担当
推し 韓国新人アイドル
K.Jくん

やらせていただいています。
プロデューサー気取り、



ヨーコ

彼はいま、かわいいを脱皮して、雄っぽさをアピールするタイミングなんだぞ、わかってんのか!とかね。プロデューサー気取りでコメントしたりしています(笑)。



ひろこ

You tubeでミュージックビデオの再生回数が伸びないと心配になる。グッズが高値で取引されていると嬉しくなる。でも人気になるとコンサートのチケットが手に入りにくくなるというジレンマも…。



ヤマザキ

ただ売ればいい!ってわけじゃないのが複雑ですね…。



ふなや

推される側もきっとネットでファンの声とか細かくサーチしていると思うんですね。



ヨーコ

うん、お互いに相手を見ている「解像度」が高いのかもね。



ふなや

ファンの声や動向をちゃんと受けとめてくれて、運営側もそれこそ正しい解釈で、次の活動に生かしてくれることもある。やるじゃん! いいぞいいぞってワクワクする。

お互いに相手を見ている
解像度が高い。



「10本以上持っているペンライト。停電した時に役立ちました(笑)」(ふなや)



「推しの顔がプリントされたラテ。なかなか飲めませんでした…」(ひろこ)

「推し」って
なんですか?



ヤマザキ

ある調査によると、20-60代の27.2%の人が「推しがいる」と回答しているとのこと。そもそも「推し」ってなんなのでしょう?



ヨーコ

う〜ん、昔からアイドルって存在はいるわけよね。昭和だと郷ひろみさんとかさ。昔から追っかけるファンもいるし。それと現代の推しはどこがちがうの?といわれると、情報量が違う気がする。



ふなや

私はいわゆるZ世代。SNS世代なんですよ。昭和とかと比べればやっぱり、ネットからの情報はリアルタイム化されているし、スピードも量も異次元だと思います。

「推し」が
生きている
すべてをウォッチしている。



ヨーコ

それこそ推しのバックステージまで、ちょっとした仕草やふだん発した言葉まで、細かいツブ感で考察して解釈しているのよ。



ふなや

こう振る舞うってことは、こんなプロ意識でファンに向きあっているんだろうな、本人の立ち位置を考えるとこんな心配があるんだろうなって。そのセリフが出るってことは、こんなパーソナリティーなんだろうなって。そこが深くてたのしい。



ひろこ

おお、今回の衣装はすごくあってる! 彼の良さを引き出してる!とか。逆にいまいちだと、運営わかってないなあ。そこじゃないんだよ! ってじれったい気持ちになる。それも楽しい(笑)。

ときどき体面を脱ぎ捨てた
裸の自分と向き合いたくなるじゃない?



ヨーコ

私は夫の介護で手一杯の暮らしをつづけてきました。夫が他界して喪失感も癒えてきたころ、まず精神的にもゆとりが生まれてくる。一方で日々はというと、企業トップとして社会人として、まじめに仕事をしている。



ひろこ

まじめ一辺倒だとストレスも溜まりますよね。日常が流れていくだけの退屈さもあるし。



ヨーコ

そうだよ。だから、ときどき体面を脱ぎ捨てた裸の自分と向きあいたくなるじゃない? ゆとりもできたしね。そんなとき、推しと出会ったのよ。



ひろこ

私も20代30代は一人前になりたくて仕事仕事でしょ、それから出産と乳児の世話でゆとりがなくて。長女が小学校にあがって少しゆとりができたタイミングでした。



ヨーコ

推しの前では開放されるのよねえ。年齢や立場とか、社会的仮面を脱ぎ捨てられる(笑) 推しの前では虚栄心とかヘンなプライドが消え失せるのよ。すごくラク。開放感がたまらない(笑)



推しの魅力に負ける
という快感がある。



ひろこ

どんな自分の感情にもむき身で素直になれる! 推しの魅力に圧倒されるのが快感なんです。



ふなや

裸の自分のこころや行動を、認められるって感じですよ。



ひろこ

推しに負けてもいい。むしろ負けたい。私の仲間たちはよく気絶しそうなくらい推しが尊いと「墓を掘る」って言いますね。



ヨーコ

推しに出会ってよかったわねえ。この充足感を味わうと、推しのない暮らしにはもう戻れない!

Vol.2へつづく



「健究員の安居さん(写真左)も推し活仲間。推しの誕生日を祝うために、タッカンマリを食べにきました。韓国の食文化を知ることも推し活の魅力です。」(ひろこ)

ヤマザキの座談会メモ

「推して、毎日を楽しむ原動力なんだ!」

推しにのめり込むことで、新しい自分を知ることができる。洞察や分析も楽しめる。

現実社会の自分を忘れてリフレッシュできる。日々の生活、仕事の活力にできる。

こんなにいろんなメリットがあるなんて、目から鱗でした。みなさんの推しへの熱量があふれすぎて、

まだまだ話したいようなので、次の号でもやります(笑)。ご期待ください!

お客様インタビューが実現するまで

STEP 1



サンセリテ編集部では、お電話やお手紙など、様々な方法でお客様インタビューを受け付けています。

STEP 2



インタビューが決定したら、事前に編集部がお電話をし、日程や内容についてご相談させていただきます。

STEP 3



お客様のご自宅や、ご自宅近くのカフェにお伺いします。カメラで撮影も行います。
※札幌在住の方には本社にお越しいただくこともあります。

STEP 4



編集部で試行錯誤し、責任をもってお客様のエピソードをおまとめします。

これまでの人生のこと、今の暮らしのこと
お客様のお話をぜひ聞かせてください!

TEL 0120-111-577 Mail inquiry@sincerite.jp



社内開放
スペース

絶賛

準備中!

サンセリテ札幌本社の5階には、元書店員の社長が集めた本が壁一面に敷き詰められています。普段は社員の休憩室ですが、イベントやラジオ収録に貸し出すこともあるこの場所。みな様にもぜひ来ていただきたい…! ということで、現在絶賛おもてなし準備中です!

